



徳島県

徳島県 農業職



農業

ノウキョウ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>

農業技術の普及指導、農家経営改善指導、農業大学校での教育、新品種・新技術の開発等の試験研究、農産物の生産振興・流通対策、六次産業化、農村環境保全等の業務に従事。





## もうかるブランド推進課

### 徳島の農業を「もうかる農業」に

もうかるブランド推進課では、「もうかる農業」を実現するため、農林水産物の流通から販売までのルート構築、6次産業化の推進や海外への輸出促進に取り組んでいます。徳島の食の魅力伝えるブランド「阿波ふんど」や、全国に誇れる産品「とくしま特選ブランド」認定品のPRイベントを首都圏や関西などの国内はもちろん、香港や欧州など世界各国で実施し、徳島の食や文化の発信をしています。また、「有機農業」や「GAPの取組み」など、SDGsの達成に寄与する「持続性の高い農業」を推進するため、「エシカル農業」の先進県として、多様な団体との連携による「エシカル農業」の拡大や、「エシカル農産物」の消費拡大、食育の推進を行っています。



山西 拓志 / Yamanishi Hiroshi

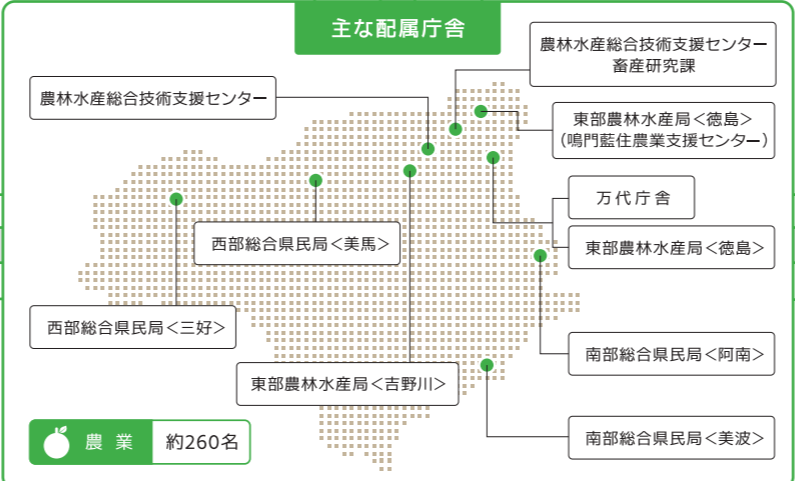
もうかるブランド推進課 主任  
平成26年度入庁

- 【所属歴】
- 平成26年度：南部総合県民局産業交流部<阿南>
- 平成29年度：国際課
- 令和2年度：もうかるブランド推進課輸出・六次化推進室（現 もうかるブランド推進課）

### INTERVIEW 01

#### 「徳島の農林水産物を世界に広めるのは自分しかない」

現在は、農林水産物の輸出を促進する仕事をしています。「なると金時」や「すだち」など、徳島県が誇る農林水産物を世界各国へ輸出するため、生産者・事業者と海外バイヤーとの商談機会をセッティングしたり、現地食品展示会への出展の機会を設けたりして、直接海外バイヤーへ売り込みを行います。輸出するためには各国の規制や動植物検疫、物流の課題など様々な障壁があります。誰も対応したことがない課題を、苦労しながらも一つずつクリアし、海外現地での販売に繋がると、とても達成感があります。「徳島の農林水産物を世界に広めるのは自分しかない」との気概を持って日々業務に取り組んでいます。



植松 菜月 / Uematsu Natsuki

農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 研究員  
平成30年度入庁

- 【所属歴】
- 平成30年度：東部農林水産部<吉野川>
- 令和2年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課

### INTERVIEW 02

#### 試験研究の結果が出た時の達成感は格別

私はイチゴの栽培技術を開発しています。試験計画を立て、栽培し、調べ、結果を分かりやすくまとめて伝える仕事です。研究職になって、どういうまとめ方をすれば誤解なくきちんと相手に伝わるのかを意識するようになりました。どんなに役に立つ素晴らしい技術でも、伝え次第では良さが理解されないこともあるからです。そのため、色々な方に意見を聞くことを心がけています。時には県職員だけでなく、生産者や関係機関の方とも話します。議論の中で面白い技術のネタが生まれることもあり、良い刺激をもらっています。調査には根気がいりますが、結果をまとめた時の達成感は大きく、人の役に立つ前向きで魅力的な仕事だと思います。



▲ イチゴの収穫調査

## 新しい栽培技術や新品種を開発・育成

農産園芸研究課は、作物、野菜、花き、果樹の新しい栽培技術の開発や、新品種の育成に取り組んでいます。米やレンコン、スタチ、サツマイモ、イチゴの品種育成や、AIやドローンを使った栽培技術、農業機械の開発など、業務は多岐にわたります。すべてに共通するのは、きちんと農作物を育てなければいけないことです。種を撒き、水や肥料をやり、病害虫の防除をし、農作物の収穫ができてやっと研究が始まります。1年に1作しか栽培できない品目もあるため、計画がとても重要です。計画を立てるときは、どんな試験をするのか、そしてそれがどのように生産現場に役立つのかを職場の皆で考えます。毎日の農作業で汗をかき、日焼けもしますが、相談をしやすく笑顔が絶えない職場です。

## 農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課



## 農林水産総合技術支援センター農業大学校

### 農業や関連産業の担い手育成に取り組む

2年制の農業大学校「本科」では「自立と協調」を基本理念に個性や進路希望等をふまえた濃密な指導により学生個々の目標実現を支援しています。農産物の生産から加工、販売までの実践を中心とした農業教育を通じ、幅広い教養と農業・食料に関する深い理解を育み、農業やその関連産業の熱意ある担い手育成に取り組んでいます。また、「アグリサイエンスゾーン」を活用し、先進農家、関係機関・団体、農業・食品関連産業等との総合的な連携指導体制により、地域産業や農村生活のリーダー養成も進めています。並行して、社会人の方を対象とした「アグリビジネスアカデミー」を開講しており、農業生産技術はもとより、経営能力にも優れ、「農業で儲ける」ことのできる人材の育成を目指し指導を行っています。

### INTERVIEW 03

#### 今後の徳島県の農業を担う若人を育てる大きな達成感と期待感、そして充実感

本科の農業生産技術コース「果樹」を主に担当しています。コースは「畜産」「作物」「野菜」「花き」「果樹」に分かれており、私は、「果樹」を選択した学生に対してマンツーマン実習、プロジェクト活動、進学・就職相談等を実施しています。栽培技術の指導に加え、学生の主体性や協調性を伸ばし専門性を高めるため、様々な課題を課して学びのきっかけを与えるよう心がけています。2年次生に対しては編入試験、就職試験対策を何度も行います。進学先や就職先が決まると笑顔で報告してくれた時は大きな喜びがあります。プロジェクト課題を修了、本科を卒業した今後の徳島県の農業を担う若人の後ろ姿を見ると、大きな達成感と期待感、そして充実感に満たされます。



中島 聡志 / Nakashima Satoshi

農林水産総合技術支援センター農業大学校 主事  
令和2年度入庁

- 【所属歴】
- 令和2年度：農林水産総合技術支援センター農業大学校

### INTERVIEW 04

#### 農業者と一緒に喜びを共有できることが、普及指導員の一番の魅力

全国的に農業者の高齢化が進行し、産地規模の縮小や後継者不足が深刻化する中で、新たな職業として農業を選択する新規就農者もみられ、このような若手農業者の育成・確保が重要となっています。海部地域では、これから就農をめざす方を対象に「海部きゅうり塾」や「もうかる農業塾」を開講し、農業の基礎知識や栽培技術を習得する研修プログラムを通して、農業の未来を切り拓く人材を育成しています。農業経験のない若者たちがプログラムを経て立派に成長し、就農していく姿を見ると大きな達成感があります。農業者と一緒に喜びを共有できることが私たち普及指導員の一番の魅力だと感じています。



須見 香 / Sumi Kaori

南部総合県民局農林水産部<美波> 主任  
平成13年度入庁

- 【所属歴】
- 平成13年度：農林水産総合技術センター
- 平成17年度：川島農林事務所
- 平成20年度：農林水産総合技術支援センター企画管理課
- 平成23年度：南部総合県民局農林水産部<美波>（平成24年2月～平成24年12月 育児休業）（平成27年6月～平成28年4月 育児休業）
- 平成30年度：南部総合県民局農林水産部<阿南>（平成31年2月～令和2年3月 育児休業）
- 令和2年度：南部総合県民局農林水産部<美波>

## 農業者と共に未来を考える

農林水産部<美波>では、農業者の経営改善や産地づくりのために、栽培技術の指導や経営相談に応じるほか、新しい農業技術の地域への普及や農産物の加工販売などの支援を行っています。また、消費者が求める安全安心な農産物の栽培方法の提案や環境に配慮した農業への転換支援などにも取り組み、幅広い視点で農業者の活動をサポートしています。農業者の活動を支えることは、農業者の経営安定や地域農業の維持発展にもつながり、食糧供給の面からも、地域経済の面からも、とても重要なことです。私たち普及指導員は、県職員の中でも農業者が一番近い存在であり、普及指導員の仕事は農業者と共に農業の未来を考え、その実現に向けて取り組んでいけるやりがいのある仕事です。



▲ 新規就農者への技術指導

## 南部総合県民局農林水産部<美波>

## 徳島県の農業職について教えて！

徳島県の「農業職」ならではの魅力は何ですか？



農業職の仕事は、農業施策の企画立案、農家への普及指導、新品種・新技術等の研究開発、次代を担う人材育成と多岐にわたります。  
特に本県では、県農林水産総合技術支援センターと徳島大学を核に構築した、人材育成や技術開発を行う産学官連携拠点「アグリサイエンスゾーン」において、AI、5G等を活用したスマート農業技術の開発に取り組めるほか、生産現場で農家に寄り添い課題解決や夢の実現に貢献できるところも魅力です。

人事異動について教えてください。



農業行政、普及、研究、教育（農業大学校）などの分野を概ね2、3年サイクルで異動します。早い時期に普及指導員資格試験の受験要件である実務を経験していただくように配慮しています。  
なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

## 徳島県の農業職について教えて！

給与について教えてください。



初任給は、月額188,700円(大学卒)です。職務内容によっては、給料月額の6%の額の「農林漁業普及指導手当」が毎月支給される場合があります。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組みはありますか？



農林水産省が主催する技術研修等に参加できるほか、基礎的な知識や技術を習得する新任期研修や普及指導員資格取得のための研修、専門分野の技術強化のための研修などを実施しています。また、毎年、各研究分野の研究発表会や普及業務における調査研究事例発表会等を実施し、職員の資質向上に努めています。

もっと「農業職」について知りたい！



徳島県職員採用ホームページでも、職務の内容や先輩職員の声を紹介しています！



## # 公務員試験

農業職の業務に関する問合せ

徳島県立農林水産総合技術支援センター経営推進課  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁6階  
TEL.088-621-2398 FAX.088-621-2858  
✉ keieisuishinka@pref.tokushima.jp

採用に関する情報・問合せ

徳島県職員採用ホームページ  
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県経営戦略部人事課  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階  
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825  
✉ jinjika@pref.tokushima.jp

※掲載内容は、令和4年1月現在のものです。